



全国対応 (40/60kHz) デジタルウォッチ

PKG-698

取扱説明書

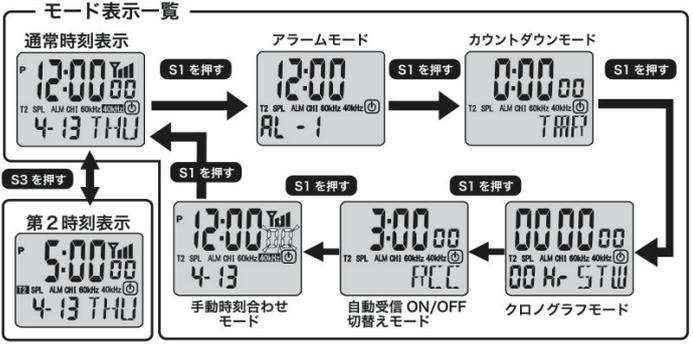
\*正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
\*お読みになった後は、必要となったときいつでもご覧になれるよう必ず保管してください。
\*注意事項もよくお読みください。

仕様: 受信周波数: 40kHz(福島局)/60kHz(九州局) 両局受信
クォーツ精度: 月差±30秒
機能: 独立行政法人情報通信研究機構の標準時刻電波を受信して自動的に時間を修正する機能
EL ライト機能について: S4を押すとELライトが約3秒間光ります。

EL ライトは電気を多量に消耗します。必要最小限のご使用をお薦めします。

時計の見方について

通常時刻表示では時間/日付/曜日が表示されています。
\*S3を押すと第2時刻表示に切替わります。
\*通常時刻表示の状態からS1を1回押すことで下記の順でモード表示が切替わります。



電波時計の通常使用と操作方法

\*電波受信時には腕から時計を外し電波を受信しやすい場所(窓側)に置いてください。
また、時計は出来るだけ表向きで水平に置くことで電波受信がしやすくなります。

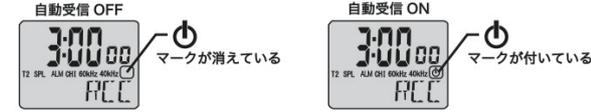
【自動受信機能について】

\*毎日(1回/午前3時)に、自動的に標準時刻電波の受信を開始します。時刻電波の受信に成功すると時刻を自動修正します。
なお、自動受信をする時刻はあらかじめ本体にプログラムされており変更はできません。
電波局は表示画面で選択されている局から受信を開始します。受信時間は各電波局で約5~10分です。

\*注意: 受信中にS1、S2、S3のボタンを押すと受信を中止します。S4のELライトを押したときは自動受信は継続されます。
また、受信開始時にクロノグラフ機能が作動している時は自動受信は作動しません。
アラームが午前3:00にON設定している場合かつクロノグラフが作動中には、自動受信が同時に作動します。

【自動受信 ON/OFF 切替え機能について】

\*任意に電波自動受信機能を停止(OFF)することができます。自動受信機能を停止することで消費電力を抑える事ができます。
① 通常時刻表示からS1を4回押し自動受信 ON/OFF モード表示にしてください。
② S3ボタンを押して[ON]か[OFF]を選択します。(\*自動受信設定がOFFになっていても強制受信は可能です。)



③ 設定を選択したらS1ボタンを1回押し通常時刻表示に戻してください。
\*設定を変更しなかった時は、S1を2回押し通常時刻表示に戻ってください。

【受信結果確認の見方】

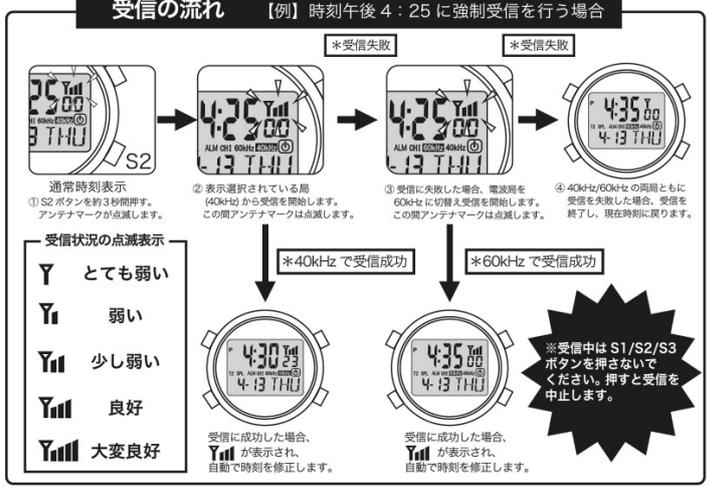
\*電波受信マークのアンテナが液晶で2~3本表示(Yu/Yul)されている場合、前回の電波受信に成功したことを示します。
\*電波受信マークのアンテナが0本表示(Y)の場合、前回の電波受信に失敗したことを示します。

受信結果の表示: Yu Yuul 受信成功, Y 受信失敗
\*自動受信を7日連続して失敗した場合、アンテナマークが全て消えた状態になります。

【強制受信機能について】 注意: 腕につけたままでの電波受信は受信感度が安定しませんので、腕から外して行ってください。

- \*任意に電波受信をする事ができます。
①通常時刻表示の状態S2ボタンを約3秒間押ししてください。Yマークが点滅し受信を開始します。
②電波局は表示画面で選択されている局から受信を開始します。
40kHz(福島局)の信号を受信しようとしている時は、40kHzのマークが表示され、60kHz(九州局)の時は、60kHzのマークが表示されます。
③受信時間は各電波局で約5~10分です。最初の電波局への受信に失敗すると電波局を切替え再度受信を行います。標準時刻電波を受信すると時刻を自動で修正します。
④40kHzと60kHzの両局で受信ができない場合は受信を自動で終了します。
標準時刻電波を受信できない場合は、クォーツ精度月差±30秒の時計として作動します。

注意: 受信中にS1、S2、S3のボタンを押すと受信を中止します。
また、クロノグラフ機能が作動している時は受信はできません。



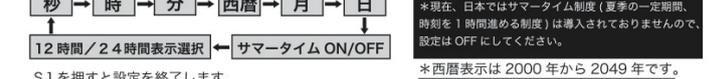
※受信に関するご注意

- ◎ 自動受信は、毎日午前3時に行われるので、時計を外した後はなるべく電波を受信しやすい意図に置くことをお薦めします。
◎ 次のような状況では受信が難しい場合があります。
\*鉄筋/鉄骨の建物の中や地下、およびその周辺
\*車、電車、飛行機などの乗り物の中や移動中
\*磁気を発する家庭電化製品(テレビ・冷蔵庫・大きなモーター製品)・パソコン・OA機器類・スピーカーなどの電気製品付近。
\*電波障害の起きやすい場所(建築現場・空港・交通量の多い道路の付近など)
\*高層ビルおよびその周辺や山間部の谷間など
◎ 電波時計は正確な標準時刻電波を受信していますが、時計内部の時刻演算処理などにより、時刻表示に1秒未満のタイムラグが生じる場合があります。

各種機能の操作方法

手動時刻合わせ

通常時刻表示の状態S1を5回押し時刻合わせモードになり、[秒]表示が点滅します。
S2を押すことにより下記の順で点滅が切替わります。数字が点滅時にS3を押して合わせてください。
曜日表示は、設定した年月日にあわせて自動調整されます。
\*S3を長押しすると数字が早送りできます。数字の逆戻りは出来ません。



S1を押すと設定を終了します。
\*設定途中で何も操作しないまま分表示が3分進むとその時点までの設定記録で自動的に通常時刻表示に画面が戻ります。

第2時刻表示の時刻合わせ

第2時刻表示の状態S2を約2秒間押しと、[時]表示が点滅します。
S3を押して時間を設定してください。最後にS1かS2を押して終了です。
\*第2時刻表示では時の設定変更のみを行い、分と秒は通常時刻表示と自動同調してしますので、分/秒の設定変更はできません。
\*S3を長押しすると数字が早送りできます。数字の逆戻りは出来ません。



クロノグラフ機能 (1/100秒ストップウォッチ)

\*最大計測時間: [99時間59分59秒99]

- クロノグラフモードにはストップウォッチ機能とスプリットタイム機能があります。
①ストップウォッチ操作
通常時刻表示の状態S1を3回押しとクロノグラフモードになります。
S3を押してスタート/ストップができます。
計測を終了した状態でS2を押すとリセットされます。S1を押すと通常時刻表示に戻ります。
ストップウォッチ作動中にS1を押すと、通常時刻表示に戻ります。この間も、計測は継続しています。
また、計測中に他のモードに切替えてボタン操作を行っても計測は継続します。
②スプリットタイム操作
ストップウォッチ計測中にS2を押してスプリットタイム(途中経過時間)を表示します。
その間もストップウォッチは計測されています。S2を押すと計測中の表示に戻ります。
S3を押すと計測を終了しS2を押すとリセットされます。S1を押すと通常時刻表示に戻ります。



## アラーム/スヌーズ機能の設定

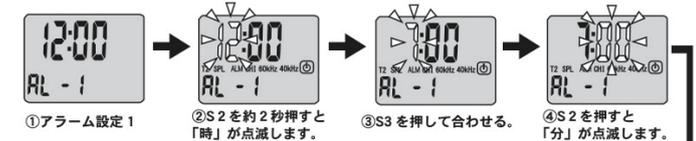
設定した時刻にアラームが鳴ります。

### アラーム時刻の設定

◎アラームは最大5つの時間設定ができます。



- 通常時刻表示の状態 で S1 を 1 回押すとアラームモードに切替ります。  
\*S2 を押すごとに [AL-1]→[AL-2]→[AL-3]→[AL-4]→[AL-5] の順で切替ります。
- アラームモード表示の状態 で S2 を約 2 秒押すと [時] 表示が点滅します。  
この時、自動的にアラームは ON に設定されます。\*数字の逆戻しは出来ません。
- S3 を押して [時] を設定してください。\*S3 を長押しすると数字が早送りできます。
- 次に S2 を押すと [分] が点滅します。S3 を押して設定してください。
- 時間設定をしたら、S2 を押して完了です。
- 別のアラーム時刻を設定する場合は、S2 を押してアラーム設定表示を切替えてから、  
②～⑤の操作を行ってください。\*最大5つのアラーム時刻の設定が可能です。
- 設定を終了したら最後に S1 を押して通常時刻表示に戻してください。



注意：アラーム機能は設定時刻を優先して作動します。  
アラーム設定番号 (AL-1～AL-5) の順番では作動はしません。

注意：設定途中でなにも操作をしなれば約3分後にその時点までの設定記録内容で自動的に設定を終了します。

### アラームの ON/OFF 設定と時報 (チャイム音) の ON/OFF 設定

アラーム設定1～5のそれぞれの表示で S3 を押して ON/OFF 設定をします。

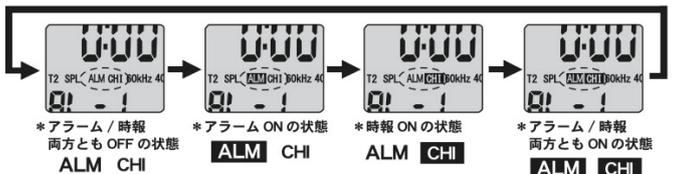
S3 を押すごとに下記の順で表示がでます。

\*アラーム音は約 30 秒間鳴ります。

希望の設定に表示を切替えたら S1 を押して通常時刻表示に戻します。

注意：アラームの ON/OFF 設定は、各アラーム設定 (AL-1～AL-5) に行ってください。

\*設定が ON になっているアラーム時刻のみアラーム音が作動します。



- \*アラームが ON に設定されている場合は、毎日設定時刻にアラーム音が鳴ります。
- \*アラーム音は S2 か S3 を押すと停止します。
- \*アラームまたは時報の設定が ON になっている時には、通常時刻表示に **ALM CHI** 表示が出ます。
- \*アラームまたは時報を解除するときは、アラーム設定1～5を表示して設定を OFF にしてください。
- \*時報はすべてのアラーム設定 (AL-1～AL-5) と連動していますので、どのアラーム設定からでも ON/OFF の設定ができます。

**スヌーズ機能の操作** ◎スヌーズ (再アラーム) は5分間隔で最大6回 (30分) 作動可能です。ボタン操作でスヌーズを解除しない場合でも、30分後には自動的に解除されます。

\*設定時刻のアラーム音が作動中に S1 を押して止めるか、アラーム音が鳴り終わるまでボタン操作をしない場合、スヌーズ機能が作動し5分後に再度アラーム音が鳴ります。

- \*スヌーズ機能が作動中は、**ALM** 表示が点滅しています。
- \*アラーム音を S1 で止めるたび、スヌーズ機能は継続され5分後にアラーム音が鳴ります。
- \*複数のアラーム時刻を30分以内に連続して設定している場合、最後に作動されたアラーム設定時刻のスヌーズ機能が優先されます。(\*全てのアラームのスヌーズ機能を同時に作動させることはできません。)
- \*アラーム音をボタンで止めない場合も、スヌーズ機能は継続されます。
- \*スヌーズ機能を解除するときは、S1 を1回押してアラームモードにし S3 を押してアラームを OFF にしてください。または、アラーム音が作動中に S2 か S3 を押すとスヌーズ機能が解除できます。

### カウントダウン機能 (タイマー機能)

設定した時間をカウントします。時間になると電子音が鳴ります。

\*電子音は約 30 秒間鳴ります。

#### カウントタイムの設定と操作方法

①カウントダウンモードの状態 で、S2 を約 2 秒押すと [秒] が点滅します。S2 を押すごとに下記の順で点滅が切替わります。数字が点滅時に S3 を押して時間を設定してください。

② [時] を設定後、S2 を押すと設定を終了します。  
③ [秒]・[分] までで設定を完了する場合は S1 を 1 回押して設定を完了します。  
\*S3 を長押しすると数字が早送りできます。  
\*数字の逆戻しは出来ません。

④ S3 を押すとカウントを開始します。  
カウント中に S3 を押すと一時停止し、再度 S3 を押すと一時停止した時間からカウントを開始します。

⑤設定時間になると電子音が鳴ります。  
⑥S1/S2/S3 いずれかのボタンを押すと電子音が止まります。  
\*カウント中に S1 を押すと、通常時刻表示に戻ります。この間も、カウントは継続し時間がくると電子音が鳴ります。また、カウント中に他のモードに切替えてボタン操作を行ってもカウントは継続します。

注意：設定時間は、カウントが終了するたびに [0:00 00] にリセットされます。  
カウント時間は毎回設定をおこなってください。

\*カウントダウンの設定時間は、1秒から最長99時間59分59秒です。  
\*0:00 00" 設定のまま S3 を押してスタートすると最長時間からカウントできます。

## 日本標準時 時刻電波について

時刻電波とは、福島県のおたかどや山標準電波送信所(40kHz福島長波局)と佐賀県のはがね山標準電波送信所(九州長波局)から送信される正確な時刻情報(日本標準時)をのせた長波時刻電波のことです。

好条件のもとでは、1,000km離れた場所でも受信が可能となっています。  
正確な時刻情報をのせた標準電波は独立行政法人 情報通信研究機構 NICTが運用しております。

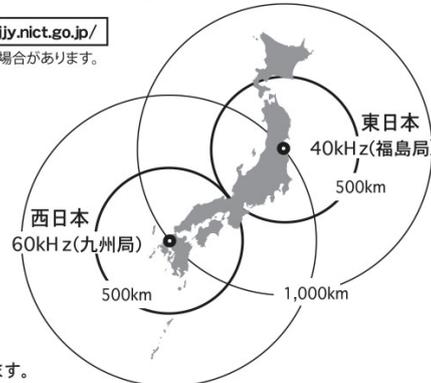
この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信していますが、保守作業などの関係で、一時的に送信が中断されることがあります。

※送信が中断されている間は電波の受信はできません。

日本標準時の詳しい情報は下記ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://ijy.nict.go.jp/>

※ホームページのアドレスは変更になる場合があります。



※ただし、気象や大気の状態、地形や時間帯、時計の置かれている建物の素材、周辺でのノイズの発生等により、受信能力が制限されることがあります。

## 電波時計の受信に関する Q&A

**質問 1** 毎日自動受信の結果を見るとアンテナマークが立っていない。電波受信が失敗になっている。これは故障でしょうか？

**答え** 故障ではありません。電波受信に成功できない原因の多くは、電波受信をする際の環境や場所です。おそらく電波信号の受信が難しい場所に時計を置いているのかもしれない。  
また、受信時に腕につけていたり受信が難しくなります。天候によっても受信感度が不安定になり電波信号を受信しにくくなります。屋内では、窓側に置くようにしてください。窓側に置いても受信できない場合は、別の窓側で強制受信を作動させて、アンテナマークの本数を確認しながら受信状況の良い場所を探してください。

**質問 2** アンテナマークが3本立っていて受信成功になっているのに、時間がずれています。なぜですか？

**答え** 第2時刻の表示になっていませんか？液晶画面の T2 マークを確認してください。通常時刻表示の状態 で右上のボタン (S3) を押すと第2時刻表示に切り替わります。第2時刻表示でもアンテナマーク表示が表示されています。また、標準時刻電波の受信時に時計内部で時刻演算処理をおこなうことで、時刻表示に1秒未満のタイムラグが生じる場合があります。

**質問 3** 強制受信をしようと、S2 ボタンを長押ししたのに電波受信を開始しません。どうしてですか？

**答え** S1 ボタンを3回押してストップウォッチモードが作動(計測中)になっていないか確認してください。ストップウォッチが作動している状態では強制受信および自動受信は作動できません。